



えんだより



新宿保育園長 狩野 貢

《クラス閉鎖》

日頃、園へのご協力ありがとうございます。

この度はコミュニティによる突然のお知らせになりました4歳児クラスの閉鎖につきましては、保健所が機能しておりませんので区役所に報告し、クラス全員を濃厚接触者としてクラス閉鎖に踏み切りました。28日に発症ですので7日間を健康観察期間とし、クラス再開は2月5日の予定になります。(今後の発症状況により延長の可能性あり)。まだまだ心配な日が続きますが、他のクラスに及ばぬことを祈ります。ご家庭におかれましても頭痛や発熱がある場合は必ずお医者さんに診ていただきPCR検査をお願いします。また保育園にもご連絡をお願いいたします。きりん組関係者2月1日現在5名の方が陽性です。保健所にはクラスターの報告をしました。

世界中で増え続けるオミクロン株の中、ついに北京オリンピック開催日を迎えます。ゼロコロナを目指す中国にとっては大変厳しい中での開催になりました。中国本土に住む人に販売する予定だったチケットも先月の17日には一般販売の停止。限られた国営企業に配られた案内状では北京に14日以上滞在し、96時間以内に2回のPCR検査、開幕式・閉幕式の入場は3回のワクチン接種済み者が条件のようです。市民の間からも残念だが国民のことを考えてくれているからであり、見るのは他の方法でいくらかでも見られるからと歓迎しているようです。

日本の選手団の先陣を切りアイスホッケー女子が先月27日に出発しました。ぜひ頑張ってもらいたいものです。ニュースが楽しみです。また保育園でも19日(土)には発表会があり、子どもたちも懸命に練習し、楽しみにしているので何とか実施できるのを祈るばかりです。

『給食室より』

管理栄養士 菊本みづほ

★節分と豆の誤嚥について

節分とは「季節の分かれ目」という意味で、二十四節気の「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日の事で年に4回あるものでしたが、現在では立春の前日だけをさすようになりました。今年は2月3日が節分です。

昨年にも伝えましたが、豆まきに使う豆やナッツ類には注意が必要です。乳幼児では噛み砕く力がまだ不完全な事もあり、乾いた豆は気管に入りやすく、又気管の中で膨らむ事もあります。一度気管に入ると入院して取り出す処置が必要になる事もあります。そのまま放置すると肺炎となり大事に至る事もあります。乾いた豆類はもう少し大きくなるまで食べさせないようにしてください。ご家庭で豆まきを行う場合は、豆の入った袋ごと撒く、又は豆の代わりに新聞紙を丸めたものを撒くという工夫をして行う事をお勧めします。

豆は良質な植物性たんぱく質であり食事に取り入れたい食材ですが、乳幼児には、軟らかく煮て少し潰す等、誤嚥のリスクを減らす工夫が必要です。園の給食でも豆を出す場合は軟らかく煮ています。特に2歳児クラスまでは軟らかく煮た物を少し潰して提供しています。また食事中に泣いたり大笑いしたり突然肩を叩いて振り向かせたりしない様、食べ方に注意する事も大切です。歩き食べ、遊び食べをしない様、食べる様子をしっかりと見守ってください。

★水分補給

熱が出ると体から水分が失われ、食欲も落ちるので脱水症状を起こしやすくなります。幼児期は体重1kgあたり90~125mlの水分が必要といわれています。4、5歳まで1.5~2ℓ位、1、2歳児で1~1.5ℓ位です。その内1/3量は食事から摂れています。食欲が著しく落ちてしまっている時はイオン飲料(所謂スポーツドリンク)ではなく経口補水液(ORS)の力を借りる事をお勧めします。水分補給は少しずつこまめに行いましょう。

保健室より

看護師 岡林菜央

日々感染症対策にご協力いただきありがとうございます。本園でも新型コロナウイルスの感染が発生し、ご心配とご迷惑をお掛けしている事と思いますが引き続きよろしく願いいたします。

新型コロナウイルス感染症

小児がCOVID-19に感染した場合、大人よりも無症状の割合が高く症状の持続時間も短いことが分かっています。初期の自然免疫応答が成人よりも強い為との研究結果が出ていますが、症状を見逃してしまうことのないよう主症状を把握しておきましょう。発生頻度の高い順に、鼻づまり、発熱、頭痛、咳、筋肉痛、鼻汁、嗅覚障害が主症状です。軽微な風邪症状でもCOVID-19によるものの可能性がある為警戒をしておく必要があります。また、昨今ではインターネットから情報を入手しやすい環境にあります。

新型コロナウイルス感染症に関する最新情報

「厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/index.html>」

「日本小児学会 <https://www.jpeds.or.jp/>」

「日本感染症学会 <https://www.kansensho.or.jp/>」

以上のような情報の正確性の高い機関のものを参考にしましょう。



2月の予定



- 3日 節分
- 7日 お誕生会
- 9日 生活発表会総練習①
- 14日 (ば) 図書館
- 15日 ひよこ健診
- 16日 生活発表会総練習②
- 19日 生活発表会
(こあら・きりん・ぱんだ)
- 22日 防災訓練



「主体性」と「自主性」との違いは・・・

～子どもの主体性を育てるために～

最近よく「子どもの主体性」という言葉を耳にすることがありますが、主体性とはどのような姿をイメージしますか? 「主体性」と「自主性」の意味は一見同じ意味合いにも思えますが大きく違います。

自主性・・・単純にやるべきことが明確でそのやるべき行動を人に言われなくても率先してやる事。

主体性・・・何をやるかは決まっていなくても自分で判断(考え)して行動する事。

ポイント1

・「主体性」を伸ばすにはまずは「自主性」を伸ばす

子どもが自分のやるべき事を自信をもってやれるまでには、不安というハードルがあります。(不安の下には自主性の芽がある)間違っていないか不安な姿を見守ってあげましょう。

ポイント2

・自分で考える習慣をつくる

子どもたちが自分で考えるためには、主体的に行動した事を承認し、主体性を尊重したコミュニケーションが重要です。

主体性を育てる事は日々の積み重ねがとても重要です。指示命令で動く事を繰り返しては主体性は生まれません。根気と努力が必要ですが、そこで得た「自主性」は「主体性」と変わり子どもの可能性は無限に広がります。

実習生のお知らせ

2月に2週間、3名の実習生が新宿保育園で子どもたちと一緒にクラスに入って過ごします。未来の保育士です。あたたかく見守ってください。よろしくお願いいたします。

- ・橋本さん(東京未来大学) 2/7(月)～2/22(火)
- ・富澤さん(目白大学) 2/7(月)～2/22(火)
- ・今野さん(愛国学園保育専門学校) 2/21(月)～3/9(水)